

■コメント

1. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は6件となりました。

妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。

風しんはワクチン接種で予防可能な感染症ですが、妊娠中の女性は接種できません。妊婦への感染を防止するため、過去に風しんにかかったことがない方で、予防接種を受けていない方は予防接種を受けましょう。(次頁参照)

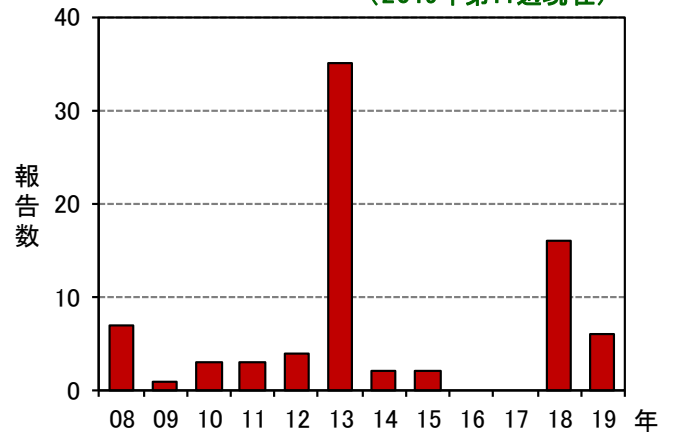
2. インフルエンザ

定点当たり3.32人と、前週と比べて減少しました。

春休み中は混雑する場所へ出かけるなど、感染機会が増えると考えられます。健康管理に注意し、流水・石けんによる手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

風しんの年間報告数の推移

(2019年第11週現在)



【参考】風しんについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	123	3.32	8.99	▲
小児科	咽頭結膜熱	1	0.04	0.24	▲
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	2.38	2.45	▲
	感染性胃腸炎	145	6.04	9.31	▲
	水痘	6	0.25	0.33	▲
	手足口病	-	-	0.16	▲
	伝染性紅斑	8	0.33	0.24	▲
	突発性発しん	6	0.25	0.34	▲
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06	▲
	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.43	▲
	RSウイルス感染症	12	0.50	0.25	▲
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	▲
	流行性角結膜炎	9	1.13	0.53	▲
	細菌性髄膜炎	-	-	-	▲
	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	▲
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	▲
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	▲
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	1.14	▲
	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.43	▲
	RSウイルス感染症	12	0.50	0.25	▲
	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	▲

急増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	▲	▲	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	39	男性(70歳代)、男性(90歳代)
4	デング熱	1	1	男性(20歳代)・市外・推定感染地域: 国外
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	女性(30歳代)
5	百日咳	2	13	男性(10歳代)、女性(10歳代)
5	風しん	1	6	女性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(感染性胃腸炎) (ロタウイルス)
報告数	広島市	第7週 524	3	53	150	6	1	6	3	-	-	13	-	2	-	-	1	-	1
		第8週 419	10	72	138	3	1	8	4	-	2	21	-	4	1	1	-	-	2
		第9週 241	5	79	183	9	-	16	4	1	9	19	-	2	-	-	1	-	1
		第10週 212	2	64	219	4	-	7	7	-	2	6	-	3	-	-	-	-	2
		第11週 123	1	57	145	6	-	8	6	-	3	12	-	9	-	-	-	-	2
定点当たり	広島市	第7週 14.16	0.13	2.21	6.25	0.25	0.04	0.25	0.13	-	-	0.54	-	0.25	-	-	0.14	-	0.14
		第8週 11.32	0.42	3.00	5.75	0.13	0.04	0.33	0.17	-	0.08	0.88	-	0.50	0.14	0.14	-	-	0.29
		第9週 6.51	0.21	3.29	7.63	0.38	-	0.67	0.17	0.04	0.38	0.79	-	0.25	-	-	0.14	-	0.14
		第10週 5.73	0.08	2.67	9.13	0.17	-	0.29	0.29	-	0.08	0.25	-	0.38	-	-	-	-	0.29
		第11週 3.32	0.04	2.38	6.04	0.25	-	0.33	0.25	-	0.13	0.50	-	1.13	-	-	-	-	0.29
	全国	第9週 5.93	0.33	2.71	5.95	0.28	0.13	0.57	0.34	0.03	0.09	0.47	0.01	0.49	0.03	0.03	0.20	-	0.29
		第10週 4.12	0.32	2.86	6.07	0.33	0.14	0.54	0.36	0.02	0.11	0.46	0.01	0.44	0.02	0.02	0.14	-	0.28

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.4) 上気道炎 鼻炎	6	女	2019/02/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
流行性耳下腺炎	発熱(40.0) 耳下腺腫脹 嘔吐 腹痛 頭痛	6	男	2019/01/29	髄液 唾液	ムンプスウイルス
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜周擁充血 眼結膜の発赤	51	男	2019/02/05	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎	1	男	2019/02/01	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.3) 上気道炎	1	女	2019/02/03	鼻汁	ヒトボカウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 痙攣	0	男	2019/01/30	咽頭拭い液 糞便	パレコウイルス3型
その他の疾患	不詳	1	男	2019/02/02	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★風しんに注意しましょう! ~先天性風しん症候群を防ぐために~

昨年7月以降、全国的に風しんが流行しており、2018年は2,937件(3月4日現在の暫定値)、2019年は第10週現在、860件報告されています。また、2019年第4週には、先天性風しん症候群が1件報告されています。

広島市では、主に妊娠を希望する女性に対して、無料の風しん抗体検査を実施しています。

【抗体検査の対象者】 広島市に住民登録している方のうち、(1)、(2)のいずれかに該当する方
(1) 妊娠を希望する女性
(2) 妊婦又は妊娠を希望する女性の同居者

検査の結果、抗体価が低いことが判明した場合は、予防接種を受けましょう。

* 抗体検査についての詳細は、広島市ホームページからご確認ください。

・広島市では無料の風しん抗体検査を行っています。【先天性風しん症候群を防ぐために!】(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1395648504256/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第11週(3月11日~3月17日)